

暮らす 出会う つながる

# かきざき映画祭

2017  
11/18  
(土)

会場:柿崎コミュニティプラザ(上越市柿崎区柿崎 6405/電話 025-536-2211)



安孫子亘さん(映画監督)  
ドキュメンタリー映画初監督作品「**檜枝岐歌舞伎やるべえや**」が山形ドキュメンタリー映画祭 2011「**ともにある Cinema with Us**」コミュニティシネマ賞を受賞した。

## 《スケジュール》

(9時開場)

- 9:30 「生きてこそ」
- 10:55 「**檜枝岐歌舞伎やるべえや**」  
(12:30~13:30 休憩)
- 13:30 「生きてこそ」
- 15:20 「**檜枝岐歌舞伎やるべえや**」
- 16:50 終了

\* 監督トークあります。

無料

フードドライブにご協力ください。



会津の語り最後の伝承者  
山田登志美が語る

ドキュメンタリー映画

## 生きてこそ



主催:柿崎わいわいしゃべろう会 / 後援:上越市 問合せ先:090-8643-7587(星野)

あびこわたる

Profile: **安孫子 亘 さん**

映画監督・映像作家 / 北海道小樽市出身 / 1979 年日本工学院卒業

1982年 TV製作に関わり日本テレビ「太古の森の物語」ギャラクシー賞選奨

TBS「ダーウィンに消された男」日本民間放送連盟賞、テレビ東京「蜃気楼の王国」

日本民間放送連盟優秀賞 …多数受賞

1995～97年アフリカ ケニアに移住 野生動物の映像制作に取り組む

1999年 短編ドキュメンタリー作品を発表

2004年 短編ドキュメンタリー「月ヨノ」世界自然野生生物映画祭出品 「キャプション 作家・立松和利」

2005年 短編ドキュメンタリー「SAKURA桜～田の神」アメリカ ジャクソンホール国際映画祭出品

2011年 ドキュメンタリー映画初監督作品 檜枝岐歌舞伎「やるべえや」

山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011「ともにある Cinema with Us」コミュニティシネマ賞

20 13年 ドキュメンタリー映画「生きてこそ」～会津の語り最後の伝承者山田登志美

20 15年 ドキュメンタリー映画「春よこい」～熊と蜜蜂とアキオさん～

20 16年 ドキュメンタリー映画「知事抹殺」の真実

プロモーションビデオ・CM・その他 多数

## 檜枝岐歌舞伎 やるべえや 安孫子亘 日本/76分/2011年

福島県の山奥の小さな村に270年以上も続く、檜枝岐歌舞伎がある。農民発祥のこの文化を消さないために若者達への伝承が続く。演技やせりふはすぐに覚えるが、先人から受け継いだ村の精神までは、なかなか伝わらない。村の中学生が歌舞伎に挑戦することになった。悪戦苦闘の猛特訓、村の人から教わるのは演技だけではなかった。それは日本の古き良き教え、まさに代々伝わる精神だった。そして子供たちの舞台が始まり感動の結末が…。安孫子亘監督の長編ドキュメンタリー第一作。

2011.3.11 東日本大震災の直前に撮り終えた、福島が舞台のこの作品。同じ福島県内では原発事故の影響で檜枝岐村のような心温まるふるさとが一瞬にして奪われてしまった。今後の原発問題について「ふるさと」をテーマに考えることの出来る作品である。

### 《お願い》

フードドライブをしています。  
ご協力ください。

(フードドライブとは、家庭で余った食材を持ち寄り、それを必要とする人に届ける活動です。柿崎生活学校ではそのお手伝いをしています。

柿崎コンシェルジュ生活学校  
問合せ:090-6620-2419

## 生きてこそ 安孫子亘 日本/74分/2013年

福島県で300年以上も前から口伝えによって伝承されてきた、貴重な文化「会津の語り」を題材にした作品です。若い世代で使わなくなってきた「昔ながらの会津弁」で語られており、主人公の山田登志美の温和でユーモラスな味わいが作品に込められています。語りとは何か？語りで何を伝えているのか？

2011年3月11日東日本大震災・原発事故の教訓を糧に今、人類はどのような暮らし方を考えていかなければいけないのか。福島県でふるさとを失った10万人もの方々の思いを、この映画を通して伝えられればと思っています。

### 《情報紹介》

○月一上映会 無料

・11月17日(金)13時30分

小さな町の小さな映画館(2011年・105分)

上映&講演

テーマ「地域づくりと映画のちから」

・12月15日(金)13時30分、18時30分

「わたしはマララ」(2015年・88分・米)

柿崎シネマ倶楽部 問合せ:080-5521-9890

○お寺 de ヨーガ & お話会

11月16日18時30分

会場:浄福寺 参加費1,000円(お茶付)

問合せ:025-536-2532(浄福寺)